

令和6年度第1回合同教育研究会議議事概要

1 開催日時

令和6年4月10日 13時00分～13時50分

2 場所

本部棟3階 特別会議室

3 出席者

鈴木学長、高橋副学長兼教育支援本部長兼教学IRセンター長、
亀田副学長兼研究・地域連携本部長、鈴木副学長兼事務局長、
三上学生支援本部長、猪股企画本部長、高橋高等教育推進センター長、
工藤看護学部長、中谷社会福祉学部長、高田ソフトウェア情報学部長、
Tee総合政策学部長、川崎盛岡短期大学部長、田中宮古短期大学部長、
永富委員（東北大学産学連携機構 特任教授）

[オブザーバー]

米内事務局次長兼総務室長、加藤教育支援室長、松崎学生支援室長、
齋藤研究・地域連携課長（藤村研究・地域連携室長代理）、佐藤企画室長、
土澤宮古事務局長

[事務局]

高橋総務財務課長、森主幹、伊藤主任主査

4 会議の概要

議事録確認

前回会議3月27日の議事録（議事概要）については、原案のとおり承認された。

審議事項

なし

協議事項

(1) 学長選考会議委員の選出について

米内事務局次長兼総務室長から、資料に基づき説明があった。
協議の結果、原案のとおり承認された。

報告事項（口頭報告）

(1) 令和6年度科研費申請・採択結果及び令和7年度科研費申請に向けた取組について

亀田研究・地域連携本部長から、資料に基づき説明があった。

委員から、高等教育推進センター所属の教員は人文科学系が多く、これまでは全学的な支援が行き届きにくかったことから、新たな取組である外部業者による支援に期待するとの発言があった。また、外部資金に応募しない場合の基盤研究費の減額に関し、科研費の獲得には研究を3・4割程度進めている必要があり、外部資金に応募していないことを理由に基盤研究費を減額されると、科研費を応募できる段階にまで研究を進めることが難しくなるとの声が所属内から出されているこ

とから、見直しを検討してほしいとの発言があった。

委員から、外部業者による申請書のチェックに関し、一部の研究が対象となるとの説明があったが、対象となる研究をどのように選定するのかとの質問があり、亀田研究・地域連携本部長から、申請書を外部業者に提出してからチェックを受けて戻るまでに時間がかかることから、早期に提出された申請を対象とするほか、部局のバランスも配慮すること、外部業者によるチェックを受けたい場合の提出期限などは、教員に対して別途通知するとの回答があった。

委員から、基盤研究費の減額を行わない「免除者リスト」の作成に関し、学部長が作成したリストを基に研究・地域連携本部で検討するとの説明があったが、具体的にはどのような検討を行うのかとの質問があり、亀田研究・地域連携本部長から、現時点では申請免除の基準がないことから、提出されたリストにより申請免除の理由を確認して免除の可否を検討するとの回答があった。

学長から、科研費は、まずは採択率よりも申請率を上げたいこと、年に1回、教育研究を顧みる機会としてほしいとの発言があった。

委員から、基盤研究費の減額に関し、現在は科研費以外の外部資金の応募でもよいことになっているが、要件が緩い外部資金もあるため、科研費並みの外部資金に限るなど見直しを検討してほしいとの発言があった。

委員から、科研費の審査は専門外の者が行うことが多くなっているため、タイトルや冒頭部分をどの分野の者が読んでわかるようにし、研究の周辺の動きや情報を書き添えるなどの工夫を行うだけでも採否が違ってくるとの発言があった。

(2) 公立大学法人岩手県立大学職務発明審査会等の運用の見直しについて

亀田研究・地域連携本部長から、資料に基づき説明があった。

(3) 防災復興支援センター学生団体の設立について

亀田研究・地域連携本部長から、資料に基づき説明があった。

学長から、防災や復興に直接関係する活動以外にも、地域の活性化につながるような活動を行い、地域内でその活動を習慣付けることで、災害時に住民同士の声掛けがしやすくなるなどの効果があるとの発言があった。

委員から、地域には防災や復興に限らず様々な課題があることから、学生がやりたいことと地域課題のマッチングをしっかりと行うことが大切であり、教員や大学の支援が必要であること、このような活動は学生のキャリアにもプラスになるとの発言があった。

(4) 令和6年度岩手県と岩手県立大学との意見交換会について

猪股企画本部長から、資料に基づき説明があった。

(5) 令和6年度夏のオープンキャンパスの実施について

猪股企画本部長から、資料に基づき説明があった。

委員から宮古短期大学のオープンキャンパスの開催について質問があり、田中宮古短期大学本部長から、滝沢キャンパスで開催するオープンキャンパスで模擬講義等を行うほか、宮古キャンパスで7月後半に数日と、8月後半の日曜日に開催すること、また、今年度はこれ以外の開催も検討しているとの回答があった。

報告事項（資料報告）

(1) 令和6年度入学者選抜試験の結果について

(2) 「令和5年度第12回職員衛生委員会」の結果について

その他

なし